

### 3. 令和4年度学校目標

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①生徒一人ひとりの進路を保障する教育課程を編成するとともに、高いレベルの学力（思考力・判断力・表現力）を育成する。 ②生徒会活動や学校行事を活性化させ、自主性や主体性を育む。	①確かな学力をつけるために、主体的に学習に取り組む生徒が増えるよう、教科等の学習支援に取り組む。 ②生徒が生徒会活動や学校行事に積極的に関わることで、充実した学校生活が送れるよう支援する。また、感染状況に配慮しながらこれまでの活動内容を後に引継ぎつつ、必要に応じて内容を工夫する。	①主体的な学習についての共通理解を図る。各教科において、主体的に学習に取り組む生徒が増えるよう教育活動の工夫を行う。工夫したことを共有し、各々の授業改善に活かす。 ②生徒会活動や学校行事・部活動を生徒が主体的に展開できるように、本部や各行事実行委員会の活動を積極的に支援する。	①主体的に学習活動に取り組む生徒が増えるよう、各教科の工夫がなされたか。また、それらの共有がなされたか。 ②生徒の諸活動を、生徒の意見を活かした主体的なものにすることができたか。
2	生徒指導・支援	①部活動を活性化させると同時に学習との両立を図る。 ②豊かな人間性を涵養するとともに、個に応じた支援体制を構築する。	①生徒の学習活動と部活動の取組み状況を把握し、どちらも有意義な活動となるように支援する。 ②チームとしての生徒指導体制や教育相談体制の充実を図る。	①部活動アンケートの実施や定期試験期間の活動予定報告などにより生徒の活動内容を把握し、改善する。 ②生徒情報交換会議等を活用し、校内支援体制の在り方や組織的対応の進め方に関する教職員間の共通理解を深める。	①生徒の活動状況や、要望が把握できていたか、改善が促されていたか。 ②校内支援体制が組織的に機能しているか。
3	進路指導・支援	①探究的な活動を通して、課題解決に向けて主体的・協働的に取り組む姿勢を養う。 ②キャリア教育を充実させ、生徒の第一志望の進路実現を支援する進路指導を推進する。	①課題解決に向けて、協働的に取り組む場を積極的に設け、協働性・協調性を育む。 ②キャリア教育の視点から、適切な進路指導を行い、生徒の進路希望の実現をめざす。	①授業でグループワークなどを設け、他者と協働する時間を確保する。外部機関との繋がりを発表会以外の場面でも設ける。 ②職員研修を実施し、模擬試験や合否結果等のデータの分析方法や活用方法を研究することにより、一人ひとりの進路指導に生かす。また、生徒及び保護者に対して高い目標を維持し、努力する意識啓発を行う。	①授業評価アンケートの項目5の3と4が85%以上を達成したか。 ②国公立大学現役合格者数50人以上を達成したか。 難関私立大学（早稲田・慶應義塾）合格者数40人以上を達成したか。
4	地域等との協働	①学校運営協議会を活性化するとともに、家庭、地域、学校間、校種間、企業等との連携を図る。 ②教育活動の情報を積極的に発信する。	①地域、PTA等との積極的な情報交換を通してこれまでの協働を継続するとともに活動をより充実させる。 ②安全に配慮しながら中学生等との対面での交流機会及び教育活動発信の機会づくりに努める。	①地域やPTA等からの要望の把握、情報交換を充実化させるとともに、新たな情報交換チャネルの開拓をすすめる。 ②中学校等の教育機関との交流機会をより増やすとともに、新たな広報媒体を積極的に発見、活用していく。	①既存の協働をより充実化させるとともに、新たな協働の機会を創出することができたか。 ②安全に配慮しながら、対面での直接的な関係作り、情報発信をすすめるとともに、新たな広報媒体を活用することができたか。
5	学校管理 学校運営	①教員のワークライフバランスを推進するために、教員の働き方改革を推進する。 ②安全安心な学校生活のための教育環境を整備する。	①効率的な業務改善を模索し、年次休暇15日以上の取得率を昨年度より上げる。 ②生徒が美化活動に主体的に取り組む気持ちを育てる。 ③耐震補強工事中の安全確保と快適な学習環境の整備を図る。	①教材の共有化を全教科・科目において行うとともに、部署等の効率的な業務改善を進めることにより、年次休暇の取得率を上げる。 ②美化委員の生徒を中心とした清掃や行事におけるゴミの分別等の美化活動を計画的に行い、生徒の環境美化意識を向上させる。 ③教育活動に支障のないよう関係機関との調整を図り、安全で快適な学習環境づくりをすすめる。	①全教科・科目において、教材の共有化を行うことができたか。効率的な業務改善ができたか。年次休暇15日以上の取得率が35%以上となったか。 ②年間を通じて校内外の環境美化に努めることができたか。また、生徒が主体的に美化活動に取り組めたか。 ③美化活動を通して、生徒の環境美化意識の向上が見られたか。 ④耐震補強工事期間中の生徒の安全を確保し、快適な学習環境を整えることができたか。
<p>「教育目標・教育方針・中長期的な方針など」 21世紀を生き抜く、知・徳・体ともにそなえた円満にして実践力のある人材を育成する。</p> <p>○生徒の第一志望の進路実現に向けた高いレベルの学力を育成する。</p> <p>○生徒会活動や学校行事を通して主体性や自主性を育む。</p> <p>○部活動と学習の両立を図るとともに自己肯定感や規範意識、他者を思いやる心を育て豊かな人間性を涵養する。</p> <p>○個に応じた支援体制を構築する。</p> <p>○探究的な活動を通して、課題解決に向けて主体的・協働的に取り組む姿勢を養う。</p> <p>○将来社会に貢献する人材を目指し、キャリア教育を充実させる。</p> <p>○家庭、地域、学校間、校種間、企業等と連携した学校づくりを行うとともに、積極的な情報発信を行う。</p> <p>○教員のワークライフバランスを推進するための教員の働き方改革を推進する。</p> <p>○安全安心な学校生活のための教育環境を整備する。</p>					